

記載例②

「はなやか KANSAI 魅力アップアワード」事務局 御中

団体名 NPO 法人〇〇〇〇インターナショナル
フレンドリー
所在地 〇〇県〇〇市〇〇町〇〇
代表者役職・氏名 理事長 〇〇〇〇

第5回はなやか KANSAI 魅力アップアワード応募シート

第5回「はなやか KANSAI 魅力アップアワード」について、下記のとおり応募します。

1. 基本情報（2021年9月1日現在）

団体名	NPO 法人 〇〇〇〇インターナショナルフレンドリー		
代表者名	〇〇〇〇	(役職) 理事長	
所在地	〇〇県〇〇市〇〇町〇〇		
設立年月日	平成 12 年 7 月 10 日	スタッフ数	10人 (会員数 120人)
業種	—	HP/URL	http:// 〇〇〇〇.org/
担当者名	△△△△	(所属・役職) 広報担当	
電話番号	(〇〇) 〇〇-〇〇〇〇	E-mail	〇〇〇〇@〇〇〇〇.or.jp
応募事業での過去の受賞歴	〇〇主催「〇〇NPOアワード2012」優秀賞を受賞		

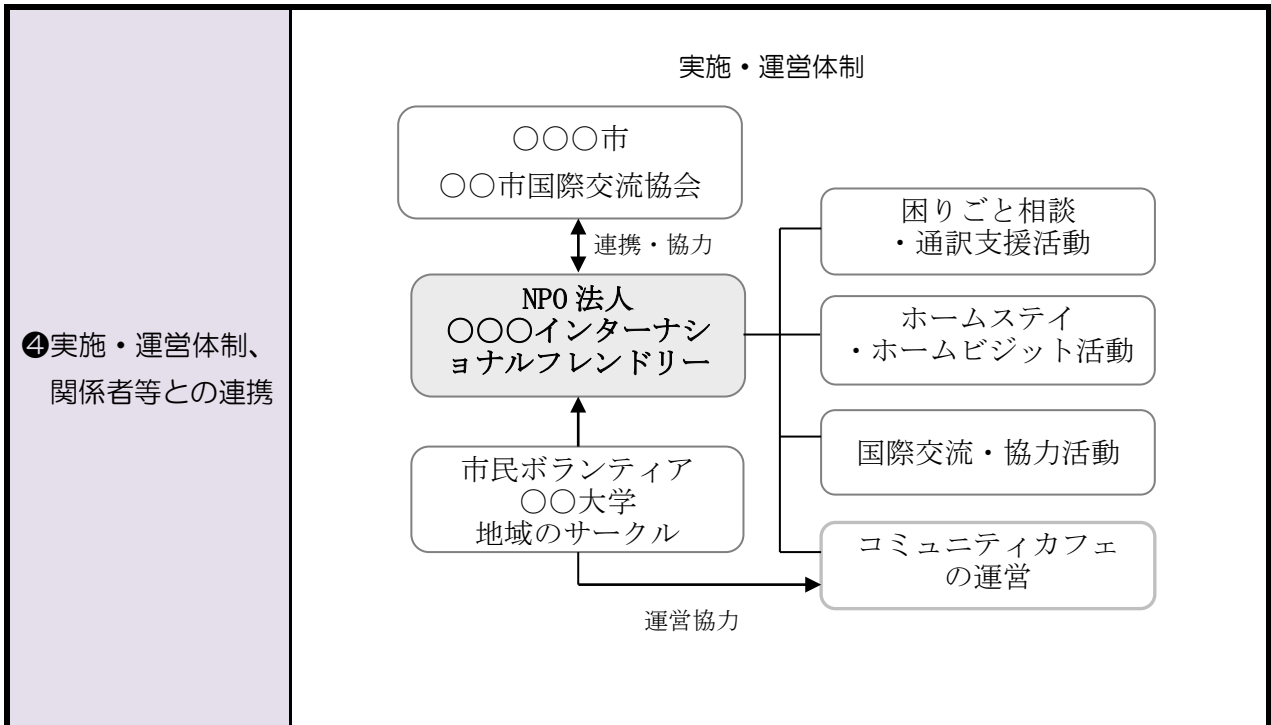
2. 事業の名称

事業の名称	地域と在住外国人との協働による国際交流支援事業	
事業ジャンル	<input type="checkbox"/> 訪日観光客の取込みに係る事業	<input checked="" type="checkbox"/> 在住外国人の居住・生活サポートに資する事業

3. 事業の展開状況

<p>①目的と背景、取組に至った経緯</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・NPO 法人〇〇〇〇インターナショナルフレンドリーは、平成7年1月に発生した「阪神・淡路大震災」を契機に、外国での生活経験のある世話好きのお母さんを中心に、留学生のホームステイ・ホームビジットの受入や外国人在住者への通訳支援など行ってきたボランティアグループ「〇〇〇絆の会」を前身としています。 ・活動をスタートしてから5年目、帰国した留学生との海外ネットワークによる国際交流・協力活動などの活動範囲も広がり、若い世代をはじめ会員も増えてきたことから、平成12年7月には、NPO 法人格を取得し、さらに積極的に活動しています。 ・「日本の言葉や習慣がよくわからなく、1日中家に閉じこもりがち」、「気軽にくつろげる居場所が欲しい」といった在住外国人主婦が多いことから、料理が得意な外国人主婦5人が中心となり、「ご自慢料理を学び・楽しむ会」を行っていました。 ・やさしい日本語でコミュニケーションを重ねながら、月1回から週1回と開催頻度を増やして活動を行っていましたが、次第に参加者が増えていき、集まった外国人と日本人が交流できる場として「コミュニティカフェ」を創ろうと考えていました。 ・そのような折に、地元〇〇〇商店街の空き店舗を無償で貸与頂くこととなり、地域に暮らす外国人女性によるご自慢料理を楽しむ、国際交流スペースとして、平成22年4月に「コミュニティカフェ」がスタートしました。 ・「コミュニティカフェ」は、ワンデイシェフ・システムで、現在、15カ国35名が、日替りランチやカフェで各国のご自慢料理を提供しています。 ・韓国、台湾、ロシア、スペイン、タイ、ベトナムなどメンバーのご自慢料理と合わせて、音楽やサロンなど幅広い文化を体験できるスペースとして、多くの外国人や地域の方々に利用されています。
<p>②事業の内容 ※コロナ禍における工夫や取組等があれば併せてご記入ください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「コミュニティカフェ」では、主に以下の活動を行っています。 <ul style="list-style-type: none"> ・地域に暮らす外国人女性によるご自慢料理の提供（毎日） （世界の日替わりランチを楽しむ（毎日 11:30～13:30）） ・世界の民族音楽を聴く夕べ（第3金曜日） ・サロン・セミナー活動（第1・第4金曜日） 「異文化間コミュニケーション」、「国際結婚が上手くいく秘訣」、「日本のマナー」、「ハラスメント」などをテーマとしたサロン・セミナーの開催（週1回） ・日常生活の困りごと相談

	<ul style="list-style-type: none"> ・ SNS を活用した新型コロナウイルス関連情報の多言語での発信 <p>○取組の実施期間（平成22年4月～現在）</p>
<p>③事業の特徴・アピールポイント</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 在住外国人からの相談で多いのが、言語の問題です。役所・学校の手続きや病院への付き添いなどには、1回〇〇〇円で通訳を派遣しており、言語も8カ国語対応が可能です。 ・ 「コミュニティカフェ」は、地域に暮らす外国人女性によるご自慢料理を楽しみながら交流するユニークなカフェレストランで、外国人女性と日本人女性が一緒に活動しています。 ・ 母国の家庭料理の提供のほか、月1回開催される近隣の大学や地域のサークルによる「民族音楽の夕べ」は、いつも盛会で、多くの地域住民や在住外国人が集い、交流を楽しんでいます。 ・ キッズスペースを併設しており、多様な国籍をもつ子育て中のお母さん、市民ボランティアのお母さんが、子供と一緒に参加でき、子供たち同士も仲良く交流しています。
<p>④実施・運営体制、関係者等との連携</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 当初は、海外経験のあるお母さんの留学生や在住外国人の身近な生活に密着した生活支援ボランティアとして活動してきましたが、メンバーの増加とともに、活動範囲が広がり、「困りごと相談・通訳支援活動」、「ホームステイ・ホームビジット活動」、「国際交流・協力活動」、そして、「コミュニティカフェの運営」を行っています。 ・ それぞれの活動に当たっては、多くの市民ボランティアや〇〇大学等の参加・協力により、活発で楽しい活動となっています。 ・ また、〇〇市や〇〇大学等からの委託事業による国際交流事業や生活相談事業なども行っています。 ・ 助成金等に頼らない自立した事業運営で、メンバーの自由な創意工夫を活かしながら、活動を展開しています。



⑥事業の成果や波及効果

- ・在住外国人メンバーも含め、メンバーそれぞれの得意とするところや関心事を持ち寄り、学び楽しんだり、悩みや困りごとを支援したり、助け合うことで、日常生活の拠りどころとなっています。
- ・開店当初は、外国人を含めて地域の方々の利用でしたが、口コミを通じて、沿線に住む留学生や定住外国人の参加が増えています。特に、「世界の民族音楽を聴く夕べ」などの交流イベントは、満席となっています。
- ・「コミュニティカフェ」の活動は、地元〇〇〇商店街へのイベントへの参画をはじめ、商店街の明るさを取り戻すことに一役買っているようです。
- ・また、昨年には、好評だったタイのご自慢料理を提供していたグループが、近隣の空き店舗にお店をオープンしました。店舗経営のインキュベータとしても機能しており、商店街の空き店舗対策にも貢献しています。

【利用者からの声】

- ・「日本の言葉や習慣がわからず、家に閉じこもりがちであったが、ここに来ることで日本の生活にも慣れ親しむようになった」、「地域の方々との交流により、日本での生活をエンジョイしている」、「来日間もないころ、子供が熱を出して困っていた時に、病院への案内や通訳を頂き、感謝している」などの声をいただいています。

【「コミュニティカフェ」利用者数】

	来店者数	イベント開催件数		困りごと相談件数
		サロン・セミナー	世界の民族音楽を聴く夕べ	
平成 22 年度	12,250 人	12	12	42
平成 23 年度	11,800 人	12	12	38
平成 24 年度	12,280 人	12	12	43
平成 25 年度	13,000 人	24	12	40
平成 26 年度	14,800 人	24	12	38
平成 27 年度	16,000 人	24	12	32
平成 28 年度	17,500 人	26	12	40
平成 29 年度	19,200 人	26	12	43
平成 30 年度	21,300 人	28	12	46
令和元年度	22,000 人	28	12	48

【マスコミからの取材、他地域からの視察や研修等の実績】

- ・〇〇新聞（平成 25 年 3 月 20 日付）
- ・〇〇放送の取材・放映（平成 26 年 7 月 15 日）
- ・△△新聞（平成 28 年 5 月 10 日付、平成 30 年 2 月 26 日付）

4. 取組上の課題と今後の展開及び見込み

取組上の課題、 今後の展開及び見込み	<ul style="list-style-type: none">・ 今後、事業を継続・拡充していくためには、人材の育成が急務となっています。そのためにも、現在は整理されていない人材育成マニュアルの作成が必要です。また、新たな雇用を創出するためには、利用者の拡大や企業等との協働が必要であると考えています。・ 当団体の活動は、国際交流の場として、また、地域に居住する留学生や外国人の日常生活の拠りどころに資していますが、近年では、遠方からの利用も頂いています。・ 利用者にとっては、居住地に当施設のような空間が存在することが望まれることから、今後、他地域でも活動を展開していければと考えています。
-----------------------	---